



6年 伊橋 美幸

ブランコ

雲をける。
風をける。
ブランコが大きくゆれる。
体が天をつきぬける。

小鳥の声を受けとめ、
少し太陽に近づく。
みんなゆれている。
友だちの声が波立つ。

もつと、もつと、

シリーズ ⑱

我が家の家庭教育

台 山崎 幸子

我が家には、中一と小五の娘がおります。二人、分け隔てなく育てたつもりでいたのですが、我が家にも一つの事件が起きてしまいました。

上の子が六年生の時のことです。水泳に剣道に、と皆から注目されるようになりました。水泳教室では、六年女子バタフライに出場し、四十秒四の大会新で一位になり、町の体育祭で、小学生が初めて町体育協会から表彰を受けました。

どこまでもこいで、
そのまま遠く、
飛んで行きたい。

俳句

逢ふときの言葉さがしつ髪洗ふ
伊藤 幸枝

洗い髪素顔の女と真向いて
伊藤 定男

洗い髪吹かるゝまゝに宵の庭
越川 雪枝

洗い髪束ねてうなじ穢れなし
椎名 静子

木洩れ陽に山の鬼灯熟れ初めり
土屋 好

うしろ手は淋しき齡花茗荷
鈴木 つね

肩こりの限り極みて梅雨しめり
越川せつ子

温泉疲れをいやす楓の若葉風
大木静波子

真田邸行き止りあり半夏生
椎名しげる

剣道においては、「野栄町大会」の男女個人戦で三位になったのをはじめ、いくつかの賞をいただきました。

親の立場から言うのもおかしいのですが、輝かしい成績を残してくれました。学業のほうも、上位にすることができました。

その影にあつて、妹は妹なりに姉に負けたくない思いでいっぱいだったと思います。その思いがぐるぐる回りになり、自信を失い精神的にすっかり落ち込んでしまったのです。

何かこちらから問いかけても、自分の殻に閉じこもり、何かにつけて反抗するようになっていったのです。一緒に生活していながら、それに気づくのが遅かつ

た自分達が、ほんとうに反省してもしきれない程でした。

これから、どうしたらこの妹に自信を持たせ一人立ちさせるかが、私達の課題でした。妹にも妹なりの良さがあるはずだ。この良さを少しずつ引き出さなければ……。あせつてはいけないと、この思

いばかりでした。

南条小の校訓でもある『力いっぱい』この言葉を頭の中に入れ、どんな小さなことでも妹なりに、「力いっぱいがんばるのよ、結果に拘ってはいけない、おまえの力を十分出しきった、その努力が大

事なのよ……。」とさとししました。

でも、なかなか思うように自信を持つてはくれませんでした。

決められた帰宅時間は必ず守りましょう。

小・中学校児童生徒の皆さん、有線で帰りの放送が流れたら必ず家に帰りましょう。また、時間が過ぎても遊んでる子供を見かけた方は一声かけて、帰りの時間をおしえてください。

一月の剣道大会の時でした。低学年の男女個人戦で第二位に入賞することができたのです。これが大きな自信となりました。今は、剣道大会と水泳教室に向かい姉と同じバタフライに、自信に満ちて一生懸命練習にがんばっています。足をけがしてブランコがあつたので、なおさら闘志を燃やしているようです。果たして結果はどうなるかわかりません。その結果を見て簡単に良かった悪かったと言わず、その努力を評価してあげたいと思います。

この先、またどんな問題が待ち受けているかわかりませんが、子供の立場になり、家族皆で話し合い解決して行きたいと思っております。